



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2015年4月17日

報道関係 各位

## ～配送車両、営業車両に啓発ステッカーを掲示～ 道路異常の情報共有と道路緊急ダイヤルの啓発活動へ 旭川開発建設部と協定を締結

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）と、北海道開発局旭川開発建設部は 2015年4月21日（火）、上川管内の国道における、道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動に関する協定を締結致します。

この協定は、当社従業員が幹線道路の異常等を発見した際、迅速に通報を行うことに加え、当社旭川事業所の車両（約80台）を対象に道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示することで、地域のみならずからより多く幹線道路の異常等に関する情報が寄せられることを目的としております。また、旭川開発建設部から当社旭川事業所へは、通行規制等の情報提供を頂くことで、円滑な道路交通に活用致します。



道路緊急ダイヤル啓発ステッカー

この度、本協定の締結式および、道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示した車両の出発式を下記の通り実施しますのでお知らせいたします。

### 協定締結式 および 出発式 開催日程

日 時	2015年4月21日（火）午前11時より
場 所	北海道開発局 旭川開発建設部 1階入札執行室（旭川市宮前1条3丁目3番15号）
	※協定締結後、正面玄関前にて出発式を行います
出席者	北海道開発局 旭川開発建設部長 丹野 弘 様 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 営業統括本部 フルサービス営業四部長 福井 誠

※尚、同日の午前11時、小樽開発建設部と当社小樽事業所との間で同様の協定締結式および出発式を行いますので、併せてご案内させていただきます。（北海道コカ・コーラボトリング(株)小樽事業所 小樽市塩谷1丁目7-12）

当社は「～北の大地とともに～」をスローガンに、地域との協働事業を通じて、持続可能で安全・安心な社会の実現を目指しております。これからも、安全で安心な地域づくりを応援する取り組み、北海道の豊かな自然と水を守る取り組みなどを、道産子企業として継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 宇井 TEL 011-888-2135

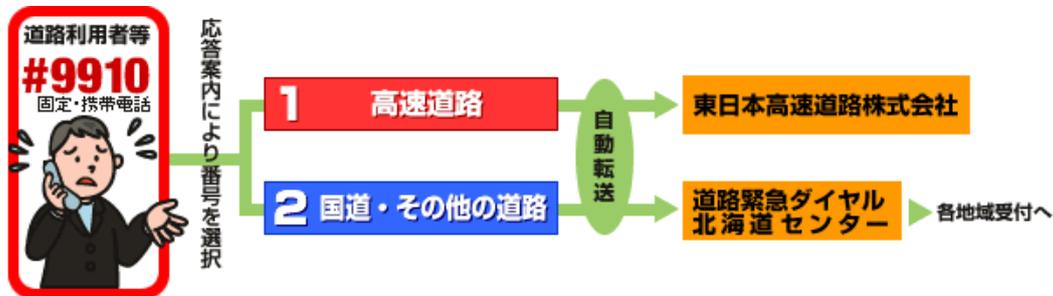
### 【参考 1】北海道開発局と当社との協働事業実施経緯

2006年9月、北海道開発局と当社は北海道の活力ある地域づくりを目指し、事業を協働することを目的とした協定を締結し、2007年10月には競争力ある美しく個性的な北海道の実現に向けた基本協定を締結しました。この協定に基づき、道の駅における北海道開発局、市町村、当社との三者連携により道路利用者への新たな情報提供手段として、当社の電光掲示板付自動販売機を活用した情報配信サービス「お知らせ道ねっと」を2006年9月より展開してきました。さらに、道路保全に関する新たな協働事業として、2014年8月より、道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動へ取り組む事と致しました。

(※当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機を活用した、地域情報や災害情報を配信する情報サービス。道の駅を中心に、2015年3月末時点で約120台の自動販売機で展開されています。)

### 【参考 2】道路緊急ダイヤルとは

道路利用者が幹線道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報できるようにするとともに、それを受けた道路管理者は迅速に道路の異状への対応を図ることによって、安全を確保します。緊急通報は、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状を対象とします。国土交通省ではこれを24時間受け付けており、電話番号は【#9910】で、通話料は無料です。



出典：北海道開発局ホームページ ([http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z\\_doro/9910/](http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/9910/))

### 【参考 3】当社の「道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動」への取り組み

2014年8月20日、十勝管内の国道における幹線道路の異常等の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動に関する協定を、北海道開発局帯広開発建設部と当社帯広事業所との間で締結しました。また、2015年3月18日に室蘭開発建設部と当社苫小牧事業所、3月19日に網走開発建設部と当社北見販売部も同様の協定を締結し、この取り組みを順次拡大して参りました。ステッカーの掲出車両の台数は、この度の旭川開発建設部、小樽開発建設部との協定に基づく取り組み開始によって合計330台となりました。



帯広開発建設部との協定締結 (2014年8月)



室蘭開発建設部との協定締結 (2015年3月)



網走開発建設部との協定締結 (2015年3月)